

注意点1

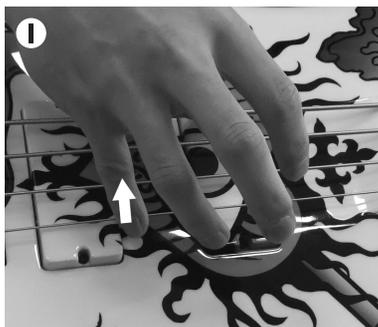
右手

6連符フレーズにピッタリの4フィンガー・レイキング

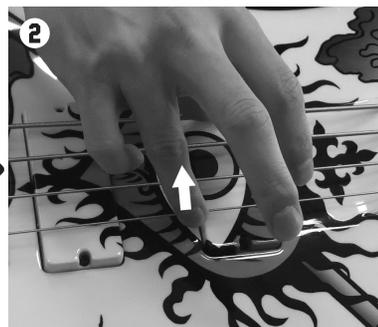
難関である3フィンガーをマスターできた読者なら、次は当然小指を導入する4フィンガーにもチャレンジしたくなるだろう。とはいえ、小指はほかの指に比べて、短く、力も弱い。それゆえに3フィンガーのように1本弦をトレモロ・ピッキングするのは難しい。したがって、ここでは飛び道具的な大技【註】として使える、レイキングを取り入れた4フィンガー奏法を紹介しよう。

まずは、小指が弦に届きながらも、ほかの指が均等な力でピッキングできるフォームを探すことが大切だ。基本的には3フィンガーのフォームを土台にして、手首の角度をネック側に少し向けるとよい。

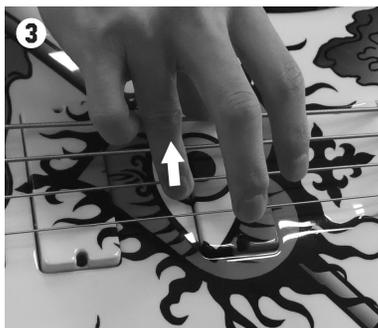
4フィンガー・レイキングは、メイン・フレーズのように2音ずつ弦移動していく6連符フレーズが演奏しやすい。3フィンガー・レイキングと同じような要領で、1弦2音→2弦2音→3弦2音を一気に弾こう(写真①～⑥)。ただし、1音1音をタイトに聴かせるためには、4本指の均等なピッキング・コントロールが必要になるので、小指をしっかり鍛えておくことが大切だ。ここで4フィンガー・レイキングをマスターすれば、6連符フレーズを超速で演奏できるようになるぞ!



まずは1弦を小指から弾き始めて……



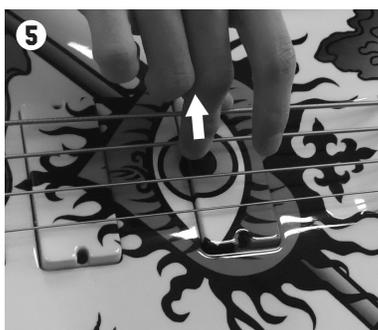
続いて、薬指で1弦を鳴らす。



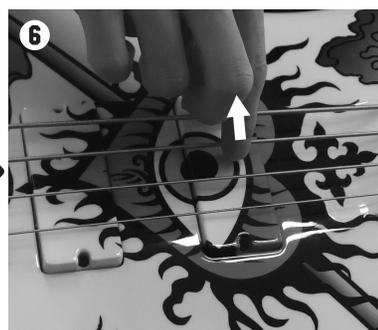
薬指のレイキングで2弦に移動。



続いて、中指で2弦をピッキング。



中指のレイキングで3弦に移動して……



人差指で3弦を弾こう。

注意点2

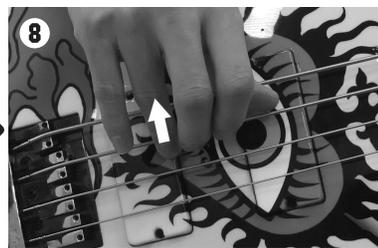
右手

親指を活用する4フィンガーに挑戦せよ!

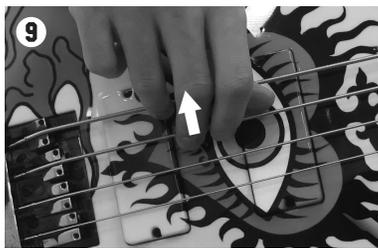
竹&松フレーズでは、“親指・人差指・中指・薬指”による変則4フィンガーを使用する(竹フレーズは、親指→薬指→中指→人差指、松フレーズは薬指→中指→人差指→親指という順番)。この変則4フィンガーでは、まず親指をほかの指の位置と揃えるために下側にズラすことが大切だ。ただし、親指を下側に移動させると、人差指と中指がやや窮屈な状態になるので、人差指と中指を上手に丸め込むように意識しよう(写真⑦～⑩)。これまで紹介してきたピッキング・フォームとは大きく異なるので、じっくり練習してみてください。マスターできた暁には、インパクトのあるサウンドを生み出せるようになるぞ!



竹フレーズの指順。まずは親指で3弦をピッキングして……



続いて、薬指で3弦を鳴らす。



指を上手に丸め込んで、中指でピッキングした後は……



人差指で3弦を鳴らそう。

【飛び道具的な大技】速弾きなどのテクニカルなプレイはもちろん、観客を仰天させる飛び道具プレイも習得していなければ超絶ベーシストにはなれない。常に常識を越えた発想を持つように心掛けることが大切だ。